平成27年度　目標管理シート （部別組織目標）

部名	市立病院	部長名	森崎　哲朗

組織目標	市立病院は、自治体病院として地域に求められる医療や政策的な医療を行うとともに、地域の医療機関と医療機能を相互補完しながら、回復期から慢性期医療、在宅医療を中心に、「市民に役立つ病院」として地域医療に貢献します。 ・　医師会をはじめ、他の医療機関、介護福祉施設等との連携強化や病院業務の見直しなどを推進し、収益の向上と経費の節減を図り、経営改善に努めます。 ・　八代地域における医療構想（ビジョン）、地域包括ケアシステムを踏まえた新病院改革プランの策定を進めるとともに、これからの病院機能の役割について引き続き検討します。

重点施策番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 重点施策 施策の体系	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
市立病院①	**医療機能の明確化** 1－3－1	①具体的目標	主に慢性期医療を中心に二次救急医療も提供しているが、八代医療圏全体としての医療機能を考慮すると、現在の結核医療と慢性期医療に加え、一部回復期医療を担うことで、患者の流れをさらにスムーズに在宅へ導けることが可能となるため、必要な機能を備えた診療体制に移行することを推進する。	○年間を通して ・市立病院の診療内容や地域医療機関等との連携などについて、ホームページや病院広報誌などを活用し、市民や患者、他の医療機関に対してわかりやすい情報の提供に努める。 ・今年度に都道府県が地域医療の役割分担を明確にするために策定する「地域医療構想（ビジョン）」に併せ、市立病院においても、単に収益改善にとどまらず、地域医療ビジョンの内容を踏まえた新たな病院改革プランの策定を始める。 ○年度末までに ・現在行っている訪問診療の件数を20件に増やす。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	県南地域において、民間医療機関では十分な対応が困難な医療（結核医療）を提供する役割を担っている。 圏域内の機能分担や役割のうえで、回復期に必要なリハビリテーションについて具体的な検討が必要である。 また、在宅医療に関しては、医療スタッフの充実が必要となる。							②課題・特記事項等	
市立病院②	**地域の医療機関等との連携** 1－3－1	①具体的目標	地域医療連携室を中心とした患者からの相談業務の充実と、地域の医療機関及び介護福祉施設との連携強化を強める。	○年間を通して ・研修会等への参加 「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるやつしろ」を目指して、八代地域在宅医療連携体制検討会議が行う、八代地域の医療介護に携わる多職種連携強化のための各種研修会等へ積極的に参加し、地域包括ケアシステム、介護保険制度の理解を深める。 ・空床情報の発信 毎週月曜日に当院の空床情報を市内各医療機関及び介護福祉施設に対してFAXにて知らせ、積極的に患者を受け入れる。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	現在配置している連携業務担当者に加え、患者の社会復帰に向けた専門的知識有する医療相談員（MSW）の配置が望まれる。							②課題・特記事項等	

重点施策番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 重点施策 施策の体系	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
市立病院③	**診療環境整備** 1－3－1	①具体的目標	日常業務の質の向上を図り、患者の安全を守るためにも、病院スタッフが働きやすい就労環境を整備する。 医療器機の整備については、費用対効果を十分に検証したうえで実施する。	○年度末までに ・手狭になっている入院患者の浴室を、現在の1階手術室の一角に移動させることで、入浴介助時の職員の負担軽減を図る。 ・入院環境改善を目的に入院ベッドの更新を年次計画で実施する。（初年度15台更新を予定） ・内視鏡器機の更新、バイオハザード対策用キャビネットの購入など医療器機整備についても、費用対効果と職員の就労環境向上に向け計画的に整備を行う。 ・院内LANを使って、可能な限り検査結果や診療情報などの電子化により院内の情報の共有化を図る。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	現在の病院施設・設備は、整備から46年が経過し老朽化が著しいうえに、耐震診断の結果からも安全性が保たれていない。患者及び職員の安全安心、また防災対策の面からも早急な対応が必要である。							②課題・特記事項等	
市立病院④	**職員の教育・研修** 1－3－1	①具体的目標	① 病院運営が的確に行えるよう事務職以外の職員にも組織目標を明確にし、医療人として病院経営に参画するという意識を持たせる。 ② 自治体病院としてふさわしい行動規範として「患者への気配り」を掲げ、職員ひとり一人が心がけるため、接遇の重要性を再認識して一層の向上に努める。	○年度末までに ① 朝礼や院内各種会議を通じて病院の経営状況や目指すべき方向性を全職員が共有し、課題等に対しても円滑な対応ができるよう努める。また、医療技術の向上に向けた専門資格の取得や研修に参加させる。 ・各部署からの院内発表会の定期開催（年1回） ・国保地域医療学会での事例発表 ・医師及び専門職の学会参加（年1回以上） ② 真心のこもった医療サービスが提供できるよう外部より講師を招へいして全職員を対象に接遇研修を実施する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①部署によっては産休等で常勤職員が不在のため意識向上を図りにくい。 ② 接遇に関しては、全職員がおもてなしの心を学び、意識づけすることで、患者満足度の向上とクレームの減少へつなげたい。							②課題・特記事項等	
市立病院⑤	**安定した経営基盤の確立** 1－3－1	①具体的目標	安定した経営基盤の構築を図るため、収益の確保と費用の節減に向けた取り組みを強化する。また、自治体病院としての役割と責任を果たすため、一般会計からの負担のあり方を明確にする。	○年度末までに ・地域医療連携室を中心としたベッドコントロールにより病床利用率90%を目指す。 ・単年度収支の黒字を目指すとともに経常収支比率100パーセント超をキープする。 ・診療報酬の改定に的確に対処するとともに、診療報酬の請求漏れや減点を防止する。 ・未収金の未然防止対策と早期回収に努める。 ・医薬品及び診療材料等の購入方法について、他医療機関との共同購入の検討を進める。 ・政策医療としての結核医療について、市との協議のうえ、その負担のあり方を明確にし、一般会計からの負担金の基準を再協議し定め費用を負担することとする。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等								②課題・特記事項等	